



◆ 岩永 義仁 議員

**問** 現時点で開通目標の変更はない。具体的な開通日はNEXTCOと協議の上で4月以降に発表する予定である。

**答** 平成30年6月開通予定に変更はないか。

**問** 工事の進捗状況は。

**答** 全ての工事の発注が終わり、本体及び付随施設の工事や関連施設の整理を行なっているところである。

**問** スマートICの開通イベントはどのようなものを考えているか。

**答** 養老サービシエリアと直結型のインターなので開通式典にはサービシエリアを利用し、養老の魅力発信できるようなものを考えている。



建設が進む養老スマートIC

**問** 養老サービシエリアの魅力を発信できているか。

**答** 複数の会社から問い合わせがあるので、最新情報を提供している。

**問** カーナビや地図製作会社、アプリ製作会社等への積極的な働きかけは。

**答** カナナビや地図製作会社、アプリ製作会社等への積極的な働きかけは、最新の情報を提供している。

## (新設) 養北こども園の今後は

### 町長 関係各位の意見を参考に

**問** 9月議会での執行の説明は間違いか。

**答** 平成22年から要望があったが今回8項目の要望書が提出された。

**問** 要望にどのように答えるか。

**答** 基本的な計画ができた段階で地元や保護者等関係各位に説明する。

**問** 要望書にあるように将来を見据えて統合も視野に入れた検討を行なうことを提案する。

**答** 今年度からこども園がスタートした段階なので、小学校区を基本単位として関係各位の意見を参考にしながら今後の計画を検討し、子ども子育て会議に諮りながら事業を進めていきたい。



◆ 松永 民夫 議員

## 町長 推進委員会で検討する

## 道の駅の今後の計画は

**問** 現在までの道の駅構想の進捗状況は。

**答** (仮称)道の駅検討委員会は立ち上げていない。しかし「養老町養老の郷・田園エリア推進委員会」の中で検討している。委員会は2回開催し、基本構想を取りまとめている。本年度は委員会は開催せず、報告するには至っていない。



道の駅イメージ

※PFIとは、公共施設の整備に民間の資金や技術力、経営能力を活用する手法。

**問** 今後の年次的事業計画、構想は。

**答** 田園エリア整備推進委員会の中で場所も含め議論していく。財源については、国・県の補助金や交付金を積極的に活用し民間資金を活用するPFIの導入も検討していく。サラダコスモとの連携も併せて庁舎内で「検討チーム」を設置し、利活用等の検討を進めていく。

## 公金クレジット収納は

### 町長 調査し検討していく

**問** クレジット収納は多くのメリットがある。県内では岐阜市・大垣市をはじめ多くの市町村が導入している。養老町の導入への考えは。

**答** 国は平成17年1月より公金のクレジット収納を導入し、県や地方自治体も導入をはじめている。

**問** クレジット収納は多くのメリットがある。県内では岐阜市・大垣市をはじめ多くの市町村が導入している。養老町の導入への考えは。

**答** 町では、税金等の支払いは、口座振替とコンビニ収納を推奨している。クレジット収納については、今年度から調査を始めている。クレジット収納の導入については、電算システムの改修や手数料、他市町での利用状況、コストや効果面など鑑み検討していく。